

2024年度
編入学・転入学試験要項



自分が変わる、未来を変える。

目 次

アドミッション・ポリシー	1～4
1. 募集学科・募集人員	5
2. 編入学時期および編入学年次	5
3. 出願資格	5
4. 入試日程	6
5. 事前相談および出願	6
6. 出願書類	7
7. 入学検定料	8
8. 心身に障害のある場合	8
9. 出願上の注意	8
10. 選考方法	8
11. 試験会場および集合時間	8
12. 試験当日の注意	8
13. 合格発表	9
14. 入学手続き	9
15. アパート・マンション等	9
納付金	10～11
出願から入学まで	12
試験会場案内図	13

アドミッション・ポリシー

大同大学工学部および情報学部では、次のような人を広く求めています。

(知識・技能・思考力)

- (1) 新しいものを創ることに興味をもち、工夫することができる人
- (2) 専攻する分野を学ぶための基礎的な知識や技能を有している人

(判断力・コミュニケーション力)

- (3) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (4) 豊かな感性と表現力をもつ人
- (5) 人格を尊重しあい、他者と協調できる人

(関心・意欲・態度)

- (6) 自己の能力向上に意欲をもち、将来の夢や目標を見つけない人
- (7) 目標に向かって自己を開拓する意欲を持っている人
- (8) 学科・専攻の研究領域に興味をもち、専攻する分野の勉学への熱意をもつ人
- (9) 地域や社会との関わりに興味をもち、発展に貢献したい人

<機械工学科>

機械工学は、「ものづくり産業」に直接的に結びついた学問です。日常の生活で利用している産業製品は機械工学という学問と科学技術の結集によってつくられたものです。機械工学科では、これらの製品および製品を生み出す機械をつくるための基礎から応用までの知識と技術を有し、自ら学び、考え、行動できる人材を養成します。加えて、産業界の最先端技術の動向、知的財産権、情報技術、環境問題などについて学び、社会人・技術者としての素養を身につけ、人間・環境に優しい機械やものづくりを創造する能力を身につけることを目標としています。

機械工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械のしくみ、構造、機能などを考えて、創造的な機械・製品を設計したい人
- (2) 専門分野を学ぶための基礎知識を持っている人
- (3) 広い視野と健全な価値観を持ち、それを表現し他者と協調できる人
- (4) 機械工学を通じて、自らの目標を見つけられる人
- (5) 機械工学科の理念と特色を理解し、強い興味と勉学への熱意を持つ人
- (6) ものづくりが好きで、積極的にものづくりに挑戦したい人
- (7) 地球環境問題や社会貢献に関心を持っている人

<機械システム工学科>

機械システム工学科では、基盤的な機械工学とともに特色あるエネルギー工学、自動車工学、航空宇宙工学、ロボット工学などの応用工学をバランスよく教育します。製図・CAD教育による機械設計技術や基礎的な電気・電子・制御技術の習得、また最先端の産業用ロボットなどを使用した実践的な学習を通して、複数の学問領域にまたがった対象を1つのシステムとしてまとめ上げることのできる「創造性豊かな」エンジニアを養成することを目標とします。

機械システム工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 機械と電気・電子技術を総合した創造性豊かな「ものづくり」に意欲的に取り組むことができる人
- (2) 機械工学や周辺技術（電気・電子工学、制御工学、メカトロニクス、プログラミングなど）の専門分野を学ぶための基礎知識や技能を持っている人
- (3) 実社会で活躍しているエネルギーシステム、自動車システム、航空宇宙システム、ロボットシステムなどに興味や関心がある人
- (4) 発見した課題や問題に対し、熱意をもって考えることができる人
- (5) 技術コンテストなど課外活動に積極的に参加する意欲のある人

＜電気電子工学科＞

電気電子工学科は、現代社会を支えるエネルギー、コンピュータ制御、ナノテクノロジーの3つの学問領域にわたる知識や技術を体系的に学び、修得することを目指しています。これら3つの専門分野を個別に学ぶのではなく、システムとして有機的に結びつけ、ハードウェアからソフトウェアまで総合的に学習し、将来の応用に備えて基礎的知識を身に付けた人材を養成します。太陽光発電、都市型風力発電システムから最先端のナノテクノロジーまで、講義と実験を組み合わせた多くの実践的な授業を通して、知識や理論を自分の目や手で実際に感じ取りながら、自然に体得できる教育を目指しています。

電気電子工学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 電気電子工学科の専門分野を学ぶために必要な数学、物理の基礎学力を有している人
- (2) 電気電子工学科の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) 「ものづくり」に興味や関心がある人
- (4) 広い視野と健全な価値観をもち、決断力と行動力のある人
- (5) 新しい価値の創造に興味を持ち、その実現に向け工夫し、努力する人

＜建築学科 建築専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 建築専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

建築専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

＜建築学科 インテリアデザイン専攻＞

英語では、建築のことを“architecture”、建築家のことを“architect”と言います。“archi”は、「第一の、先頭に立つ、主要な」などの意味を持ちます。つまり、“architect”とは、元々は、先頭に立って全体を統率する技術者のことを指します。建築学科 インテリアデザイン専攻では、そのように対象とする建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーになろうとする人を養成します。

インテリアデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 建築やインテリア空間の設計や施工(工事)を統率するリーダーとなるための最も基礎的な5分野(計画、歴史、構造、材料、環境)を理解しようとする人
- (2) 目まぐるしく変化する社会や地域の中で見過ごされた建築的課題や人々の心の奥底に隠された無意識の建築的要求を発見し、その課題や要求に対する解を考え、具体化(デザイン化)しようとする人
- (3) 具体化した提案を、言葉、図面、模型、コンピュータを使って、丁寧に、分かりやすく説明できる能力を持つようとする人

＜建築学科 土木・環境専攻＞

土木・環境専攻では、都市に必要な施設を適切に整備するための調査・計画、設計、施工、ならびに管理の方法や、都市の抱える様々な環境問題を解決する方法等について教育します。わたしたちが安心して快適に生活するためには、道路、鉄道、空港、港湾といった交通・通信施設、川や海の護岸や堤防等の防災施設、また上下水道や電力・ガスなどの施設が必要です。さらに、都市の緑化や生物多様性の保護・復元等も重要となっています。理論や知識の教授だけでなく、まちづくりに関する実験・実習を通して、安全・安心で快適な「ま

ち」を創造することができる技術者を養成します。

土木・環境専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 土木・環境専攻の専門分野に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (2) 安全・安心で快適な都市環境をデザインしたい人
- (3) 自然と人工物の調和に関心がある人
- (4) 「まちづくり」の仕事がしたい人
- (5) 地図に残る「ものづくり」をしたい人

＜建築学科 かわりデザイン専攻＞

かわりデザイン専攻では、空間の快適性に密接に関係する「にょい・かわり」について学びます。人の心や生活環境における「にょい・かわり」の特性と役割、活用法などの基礎知識を身に付け、「にょい・かわり」の測定・評価技術を修得し、「にょい・かわり」を活用した豊かな生活がデザインできる能力を養成します。

かわりデザイン専攻では、以下のような人を求めます。

- (1) 様々なにょい・かわりに興味や関心のある人
- (2) 生活環境の様々な事象に興味や関心があり、問題点や課題を見出し、解決策を考えることに意欲的な人
- (3) 調査・実験の手順等を様々な角度から考え、組み立てることができる人
- (4) 調査・実験等にグループで協力して取り組める人
- (5) 様々な課題に対して誠実な態度で臨むことのできる人
- (6) 実験・実習に積極的に取り組むことのできる人
- (7) 生活の中の不快なにょい問題を解決し、かわりを適切に活用していきたいと考えている人

＜情報システム学科＞

コンピュータやネットワークの技術は現代社会の基盤（インフラ）となり、私たちの日常生活とすべての産業活動を根幹から支えています。そうした社会の状況を踏まえ、情報システム学科では情報技術の専門教育を通して、情報システムの作り手・使い手としての専門的な知識・技術を有する人材を養成します。

情報システム学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 将来、コンピュータやネットワークの技術者として社会に貢献したいと考える人
- (2) コンピュータやネットワークの技術に興味をもち、勉学への熱意をもつ人
- (3) コンピュータを動作させるプログラムに興味をもち、その習得に積極的な人
- (4) 基礎的な数学の能力をもち、物事を理論的に説明でき、問題を解決できる人

＜情報デザイン学科＞

ますます高度情報化する社会において、ビジネスを発展させたり、人の心や生活を豊かにしたりするデザインの役割が高まっており、デザインで活躍できる人が期待されています。

情報デザイン学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 身の周り、そして広く社会にある色、形、素材などに興味・関心があり、それらの組み合わせや表し方を追究することに意欲のある人
- (2) グラフィックス、音楽、映像、造形などに興味・関心があり、先進的かつ実践的な創作やものづくりに意欲のある人
- (3) コンピュータのソフトウェアの動作や仕組み、ならびに、コンピュータで動く 3D プリンタの操作など、情報機器の理解・活用に興味・関心がある人
- (4) 時代の流れや社会の様子に敏感で、他の人たちと協力して、実業界で活躍したり、社会に貢献したりすることに意欲のある人

＜総合情報学科＞

総合情報学科は、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有する有為な人材を養成するために、情報学、経営学、スポーツ学という三つの学びの分野を提供し、PBL（Project-Based Learning 課題解決型学習）によって実学教育の具現化に努めています。

総合情報学科では、以下のような人を求めます。

- (1) 幅広い教養と専門知識を実践に活かし、自ら主体的にデータ分析・問題解決を行い企業社会の中で活躍できる人
- (2) 専門知識と経験を活かし、全社的な観点から優れたマネジメントを行うことができる人
- (3) 専門知識やマネジメント能力を、地域活性化などあらゆる社会活動の面で役立てようとする人
- (4) 活躍の場を広く求めコミュニケーション能力の向上に積極的に取り組む人
- (5) 指導力・統率力を発揮し、ビジネス・リーダーになれる人
- (6) 未知の領域に挑戦する勇気のある人
- (7) 社会へ貢献することを自分の喜びとして行動できる人

1. 募集学科・募集人員

学 部	学 科	専 攻	募集人員	
工 学 部	機械工学科		若 干 名	
	機械システム工学科			
	電気電子工学科			
	建築学科	建築専攻		
		インテリアデザイン専攻		
土木・環境専攻				
かおりデザイン専攻				
情 報 学 部	情報システム学科			
	情報デザイン学科			
	総合情報学科	経営情報コース		
		スポーツ情報コース		

2. 編入学・転入学時期および編入学・転入学年次

編入学・転入学時期は、2024年4月とし、編入学・転入学年次は、3年次または2年次となります。

3. 出願資格

●編入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者および2024年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学において2年次の課程を修了し中途退学した者
- (3) 短期大学または高等専門学校を卒業した者および2024年3月31日までに卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上あること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）
- (5) 高等学校、中等教育学校の後期課程および特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者および2024年3月31日までに卒業見込みの者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）
- (6) その他法令等により編入学を認められた者

●転入学を志願できる者は、他の大学の学生で、当該大学の許可を得た者。

- (注) ア. 理工系以外の出身者の場合は、修得単位の認定や専門知識の必要から編入学・転入学が難しい場合があります。
- イ. 日本国籍を有しない者は、外国において学校教育における14年間の課程を修了した者で、出入国管理および難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格も必要となります。
- ウ. 上記(4)の文部科学大臣が定める基準は、修業年限が2年以上で、かつ課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること。

4. 入試日程

事前相談期間	成績証明書等 提出期間※(1)	読み替え単位 告知期間※(2)	出願 ※(3)	試験日	合格発表日
2023.8.21(月)～ 2023.8.28(月)	2023.8.29(火)～ 2023.9.4(月)	2023.10.10(火)～ 2023.10.17(火)	2023.11.7(火)～ 2023.11.16(木)	2023.11.25(土)	2023.12.2(土)

5. 事前相談および出願

本学では、年間の履修単位数の上限を設けるキャップ制を実施しています。このため、読み替え単位数によっては、最短修業年数で卒業することが困難な場合があります。

従って、本学の授業科目とみなすことのできる読み替え可能な単位数をあらかじめ審査し、読み替え単位告知期間内に告知します。

この読み替え単位数の告知を受けて、出願を取りやめることが可能です。

※ (1) 成績証明書等提出期間

単位読み替えを行うために成績証明書等必要な書類（7 ページ参照）を提出してください。

提出書類は 2023 年 9 月 4 日（月）必着です。

提出された書類をもとに、読み替え可能な単位数を審査します。

なお、成績証明書等を提出して単位読み替えを行わなければ、出願することができません。

※ (2) 読み替え単位告知期間

本学の授業科目とみなすことのできる読み替え単位数を、電話等により告知します。

合格した場合の編入年次についてもお知らせします。

また必要に応じ、不明な点、卒業に必要な最低修業年数についてもご相談をお受けします。

※ (3) 出願

読み替え単位数、編入学・転入学年次をお確かめのうえ、出願に必要な書類（7 ページ参照）を提出してください。

6. 出願書類

第1回(成績証明書・シラバス等)

提出期間 2023.8.29(火)～2023.9.4(月)

	書類名	注意事項
1	志願票<A票> 【本学所定用紙】	志願学科、氏名、本人連絡先(合否通知先)、履歴等を明記してください。
2	最終出身学校の成績証明書	単位が記載されているもので、出願日より3ヶ月以内に作成し、厳封されたものを提出してください。(開封無効)
3	最終出身学校の卒業証明書 または在学期間証明書(在学証明書)	出願日より3ヶ月以内に作成されたもの。 出願資格(4)の専修学校専門課程を卒業した者は、専門士の称号取得証明書または専修学校専門課程が発行する卒業証明書(ただし、この場合は「修業年限2年以上で、かつ修了に必要な総授業時間数が、1,700時間以上であることを満たす」ことの証明書を添付)を提出してください。
4	シラバス又は講義要綱	出身の大学または専修学校の各科目の講義内容を説明したものを1部提出してください。(写し可)
5	単位修得予定証明書 <在学中の者のみ> 【本学所定用紙】	2023年度中の単位修得予定の証明で、厳封されたものを提出してください。(開封無効)
6	教育課程表	修得科目および修得予定科目の年間授業時間数がわかるもの

第2回(出願書類)

提出期間 2023.11.7(火)～2023.11.16(木)

	書類名	注意事項
1	志願理由書 【本学所定用紙】	詳細に記入してください。
2	受験票<E票> 【本学所定用紙】	本人の住所、氏名および志願学科/専攻を記入してください。
3	写真票<B票> 【本学所定用紙】	出願日より3ヵ月以内に撮影した上半身正面、脱帽、背景なしの40mm×30mmの写真写真を写真貼付欄に貼り付けて下さい。なお、写真の裏面に本人の氏名および志願学科を明記してください。
4	履歴書 <社会人及び外国人留学生のみ> 【本学所定用紙】	記載事項に漏れのないよう注意し、提出してください。
5	身元保証書 <外国人留学生のみ> 【本学所定用紙】	在学中の身元保証および学費負担の誓約になりますので、必要事項を記入のうえ、提出してください。 (身元保証人は、日本在住者に限ります)
6	在留資格証明書 <外国人留学生のみ>	市区町村長の交付する外国人登録済証明書(在留資格が明示されたもの)を提出してください。出願書類には、この証明書記載の氏名を必ず用いてください。
7	出願誓約書 【本学所定用紙】	第2回出願書類と共に提出してください。
8	受験許可書 【本学所定用紙】	第2回出願書類と共に提出してください。 (転入学志願者のみ)

7. 入学検定料

35,000円

- (1) **単位認定の結果により出願を取り止めることもできます。この場合、入学検定料を振り込む必要はありません。**
- (2) 本学所定の電信振込依頼書【C票】を使用し、銀行窓口での振込みに限ります。
- (3) 振込手数料は本人負担となります。
- (4) 写真票【B票】、振込金領収書【D票】に取扱銀行収納印があることを確認してください。
(注) 写真票【B票】に取扱銀行収納印がない場合は、受付できませんので、注意してください。
- (5) 振込金領収書【D票】は、志願者の領収書になりますので、入学検定料振込み後は、切り離し、大切に保管してください。

8. 心身に障害のある場合

- (1) 就学上、特別の配慮を必要とする方は、大学における学習サービスの観点から、個別に面談を実施する場合があります。
- (2) 出願に先立ち出願期間開始日より2週間前までに入試・広報室まで連絡してください。

9. 出願上の注意

- (1) **出願書類は2回に分けて提出してください。**
- (2) 出願は郵送とし、各出願期間締切日の消印有効とします。
- (3) シラバス又は講義要綱等が大きく所定の出願用封筒に入らない場合には、所定の出願用封筒の表面を切り取り、封入する封筒に貼付してください。
- (4) 出願書類等の不備なものは、受理できない場合がありますので、充分注意のうえ、提出してください。
- (5) 出願書類提出後の志願学科等記入事項の変更は、認められません。
- (6) 一旦受理した出願書類は、事由を問わず返還いたしません。

10. 選考方法

基礎学力検査、面接(口頭試問含む)および書類審査により総合評価して、可否を決定します。

11. 試験会場および集合時間

大同大学(試験会場案内図 13 ページ参照)

(注) 集合時間については、受験票にて指示します。

12. 試験当日の注意

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
(注) 万一忘れた場合は、係員もしくは受付まで速やかに申し出てください。
- (2) 集合時間より30分以上遅れた場合は、受験できません。
- (3) 面接開始20分前までには、面接控室に入室してください。
- (4) 面接控室入室後は、係員の指示に従ってください。

13. 合格発表

2023年12月2日（土）午前9:00～

合格発表は、「合否照会システム」(<https://exam-entry.52school.com/daido-it/result>)を利用して
行い、学内掲示および本学のHPでの発表は行いません。合格通知書は合否照会システム内の合格
発表画面からダウンロード、印刷が可能です（合格発表日の翌日から可能となります）。

14. 入学手続き

合格者は合否照会システムの合格発表画面から入学手続きシステムにアクセスできるようになって
います。入学手続きシステムのログインには合格発表画面に記載されているログインIDが必要で
す。入学手続きは、大同大学HP「入学手続きについて」([https://www.daido-news.jp/admission/e
ntrance_exam/tetsuzuki/](https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/))」に掲載している入学手続き案内を確認の上、指定の納付金を下記の期
限までに納付してください。

納付方法	納入金額入学手続き締切日	
	入学金	前期分の授業料等
一括	2023年12月15日（金）	

- (1) 入学手続き期限までに手続きをされない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- (2) 納付金の手続きの詳細については大同大学HPの「入学手続きについて」(https://www.daido-news.jp/admission/entrance_exam/tetsuzuki/)を参照してください。

15. アパート・マンション等

本学には、学生寮はありません。

希望者については、大学周辺のアパート・マンション等を紹介します。

納付金

(1) 学生納付金

●工学部全学科、情報学部／情報システム学科、情報デザイン学科

(単位：円)

区 分	2年次編入・転入		3年次編入・転入		4年次	
	入学手続時	後期分 (9月末)	入学手続時	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	300,000	---	---	---
授 業 料	455,000	455,000	465,000	465,000	475,000	475,000
施設設備費	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500
計	917,500	617,500	932,500	632,500	647,500	647,500
年 額 計	1,535,000		1,565,000		1,295,000	

●情報学部／総合情報学科

(単位：円)

区 分	2年次編入・転入		3年次編入・転入		4年次	
	入学手続時	後期分 (9月末)	入学手続時	後期分 (9月末)	前期分 (3月末)	後期分 (9月末)
入 学 金	300,000	---	300,000	---	---	---
授 業 料	355,000	355,000	365,000	365,000	375,000	375,000
施設設備費	162,500	162,500	167,500	167,500	172,500	172,500
計	817,500	517,500	832,500	532,500	547,500	547,500
年 額 計	1,335,000		1,365,000		1,095,000	

(2) 代理徴収金

(単位：円)

区 分	2・3年次編入・転入の年度				4年次		
	入会金	会 費		年額計	会 費		年額計
	入学手続時	入学手続時	後期分		前期分	後期分	
後 援 会	20,000	10,000	10,000	40,000	10,000	10,000	20,000
学 生 会	2,000	4,000	4,000	10,000	4,000	4,000	8,000
大 学 祭	---	3,000	---	3,000	3,000	---	3,000
災害傷害保険	---	2年次 2,600 3年次 1,750	---	2,600 1,750	---	---	---
計	22,000	2年次 19,600 3年次 18,750	14,000	55,600 54,750	17,000	14,000	31,000

(注) 1. 入学金、後援会、学生会入会金及び災害傷害保険料は、入学手続時のみ徴収いたします。

※災害傷害保険料は、入学年次によって金額が変わります。

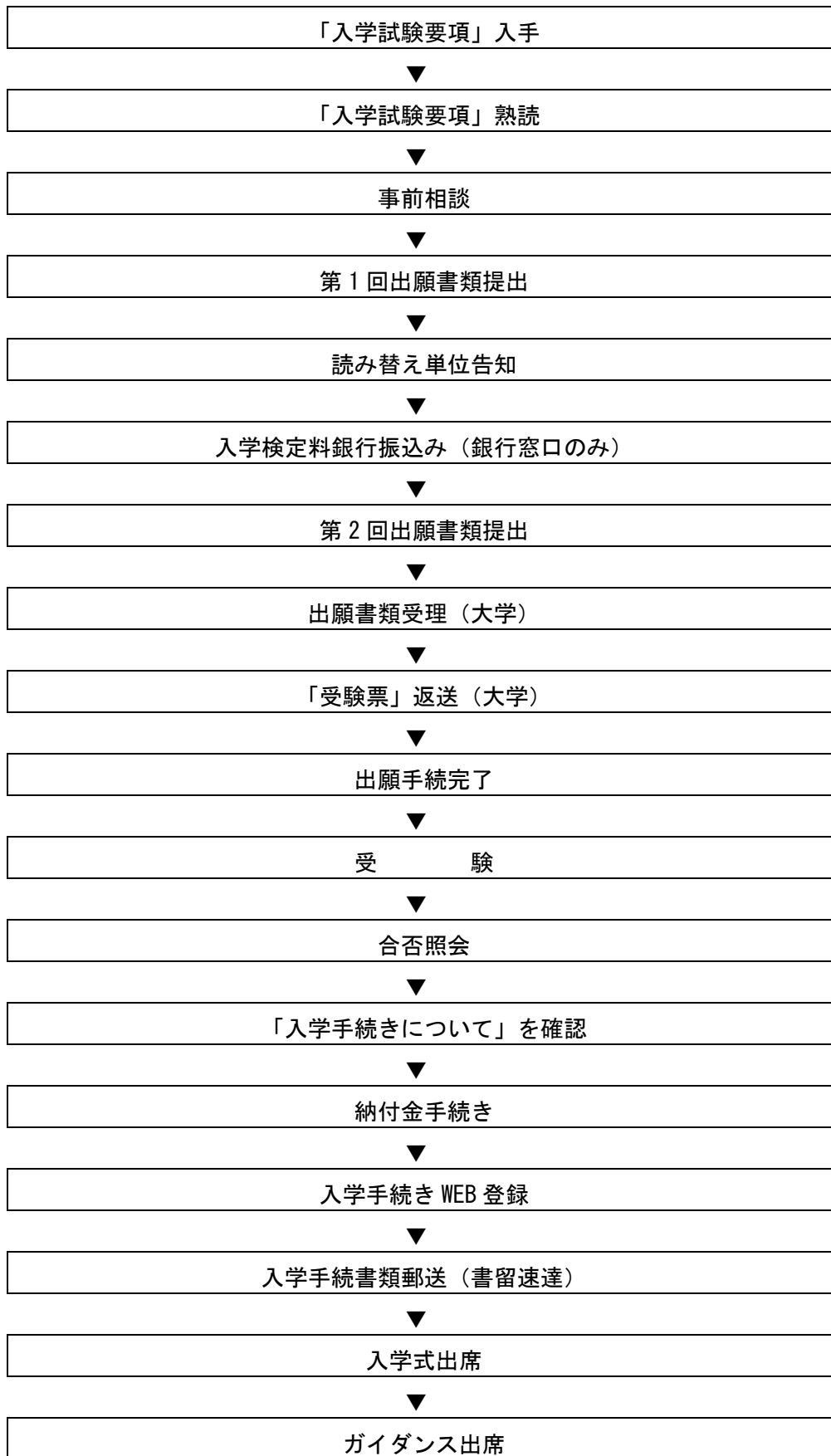
2. 学生納付金の納入は、前期・後期の2回とします。

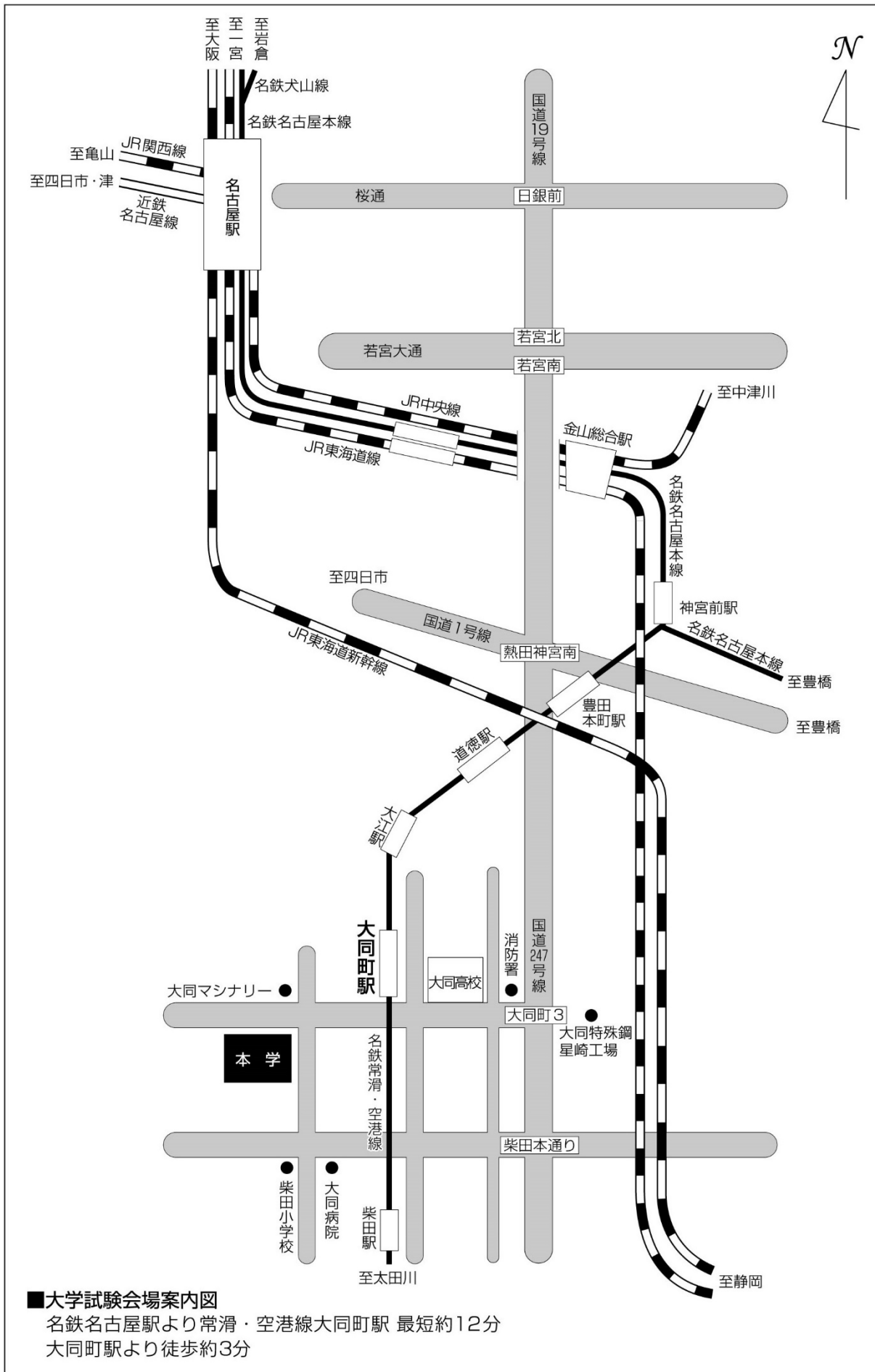
3. 入学者については、在学中ステップ制の適用により学年次ごとに定められた学生納付金を納入することになります。

4. 同窓会費は、入会金 20,000 円を入学年次後期に、終身会費 40,000 円を 4 年次後期に別途徴収いたします。

5. 入学後、私費外国人留学生学生納付金減免を認められた者は、授業料の 10 分の 3 が後期分納入時に免除されます。

出願から入学まで





大同大学

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3
フリーダイヤル 0120-461-115
TEL (052) 612-6119 (直通)
FAX (052) 612-0125
ホームページ <https://www.daido-it.ac.jp>
E-mail nyushi@daido-it.ac.jp